報道関係者各位

2023 年 4 月 20 日
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2022 年度受賞名品の展示販売と スペシャルトークイベント「有楽町から地域の可能性を探る」 開催のお知らせ

http://furusatomeihin.jp/

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会（実行委員長：古田秘馬）は、5 月 1 日から 5 月 31 日の 1 ヶ月間、有楽町 micro FOOD & IDEA MARKET（東京都千代田区有楽町 1 丁目 10-1 有楽町ビル 1F）にて、2022 年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー受賞名品の展示販売を実施します。

また、その初日となる 5 月 1 日に、ふるさと名品オブ・ザ・イヤー スペシャルトークイベント「有楽町から地域の可能性を探る」（オンラインイベント） を開催します。本日より、地域で、地方創生に取り組む行政関係者の方々をはじめ、地域商社や DMO の運営に関わる方々、地域商店街などで地域活性化を行っている方々、1次産業や伝統産業の発展に関わっている方々など、多くの方々を対象として、参加者の受付を開始しました。

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会は、地域の将来を支える名品の発掘、市場開拓、及びそれらを実現する人材や取組を支援することを目的とした表彰制度(2年目以降、最高賞である地方創生大賞には地方創生担当大臣賞を付与)を 8 年間実施してきました。

8 年の節目にあたり、下記のとおり 2 部構成で、ふるさと名品オブ・ザ・イヤー スペシャルトークイベント「有楽町から地域の可能性を探る」 を開催します。

第 1 部は、初年度から最終審査員を務めていただいた増田 寛也 氏(日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長)など最終審査員の方々と 2022 年度受賞者の方々で、2022 年度の審査を振り返りながらのトークセッションを実施。第 2 部は、ふるさと名品オブ・ザ・イヤーの立ち上げに多大なるご尽力を頂いた、村上敬亮(表彰制度立ち上げ当時、内閣官房まち ひとしごと創生本部事務局 参事官で、現在、デジタル庁統括官)さまと共に、今後の地方の可能性についてのトークセッションを行います。

■ふるさと名品オブ・ザ・イヤー スペシャルトークイベントの開催

【実施概要】
タイトル： ふるさと名品オブ・ザ・イヤー スペシャルトークイベント「有楽町から地域の可能性を探る」
日時 ： 5 月 1 日（月） 18:30～20:00
場所 ： オンライン配信 （参加申し込み者へ後日、参加用 URL をお送りします）

【トークセッション プログラム】

第 1 部 トークセッション
「ふるさと名品オブ・ザ・イヤーを振り返って」
（18 時 30 分～19 時 15 分）

登壇者: 最終審査員の方々
増田 寛也 氏(日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長)
大西 洋 氏(株式会社羽田未来総合研究所 代表取締役社長執行役員)
和田 明日香 氏(料理家・食育インストラクター)
2022 年度の受賞者の方々
進行: 古田 秘馬「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員長

第 2 部 トークセッション
「これからの地域の可能性」

（19 時 15 分～20 時 00 分）

登壇者: 村上 敬亮 氏 デジタル庁 統括官
古田 秘馬「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員長
佐竹 正範「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会幹事長

【参加申し込み】
下記の URL から お申し込みください。
https://forms.gle/kz2qTz7pHs6HVB636

先着 200 名とさせていただきます。

■ふるさと名品オブ・ザ・イヤー受賞名品展示販売の開催

5 月 1 日から 5 月 31 日の 1 ヶ月間、2022 年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー受賞名品の展示販売を実施。

開催期間:5 月 1 日～5 月 31 日
開店時間:11:00-21:00
開催場所:有楽町 micro FOOD & IDEA MARKET （東京都千代田区有楽町 1 丁目 10-1 有楽町ビル 1F）

【昨年の様子】

■2022 年度　ふるさと名品オブ・ザ・イヤー　受賞名品

地方創生大賞名品

【地方創生大賞・モノ（名品）部門】
紙布バッグ
HIROSHIMA SHIFU【広島紙布】（広島県廿日市市）

400年以上の歴史を誇り、紙をよった糸で織りあげる伝統織物「紙布（しふ）」と高級レザーを組み合わせた世界初のバッグ。和服・フォーマル・カジュアル等、あらゆるファッションに合い、高いクオリティと「伝統を持ち歩く」という新しいコンセプトを合わせ持つバッグです。

【地方創生大賞・コト部門】
うきは酒宿いそのさわ
株式会社　VILLAGE INC（福岡県うきは市）

おそらく日本唯一の現役酒蔵内に泊まれる蔵人たちの働きぶりを眺めながら自らも酒米になりきり気付けば日本酒の製造工程を学べる体験型お宿。米、水、麹のみで作られる世界でも類を見ないオーガニックなお酒：日本酒を媒介に地域食材を地域人材で提供し、旅人も地元民もスタッフもコミュニケーションを育むローカルツーリズム醸造装置こそ「酒宿」と称しています。

地方創生賞入賞名品

【モノ（名品）部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
株式会社グリーディー	宮城発、香りで始める環境支援	宮城県	仙台市
岩国市	つまんでちょんまげ	山口県	岩国市
LOCAL BAMBOO株式会社	延岡メンマ	宮崎県	延岡市
株式会社デクノボンズ	ジャパングレープシードオイル	岩手県	一関市

【コト部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
ＭｅＴｏｗｎ株式会社	夕張メロンNFT	北海道	夕張市
一般社団法人ＳＯＥ	RENEW	福井県	鯖江市、越前市、越前町
山口県阿武町	まちの縁側事業	山口県	阿武町
ＭＯＭＩＪＩ株式会社	大槌ジビエソーシャルプロジェクト	岩手県	上閉伊郡大槌町

実行委員会特別賞名品

エントリーされたすべての名品において、地方創生賞には残念ながら選ばれなかったが、ふるさと名品オブ・ザ・イヤーの趣旨と照らし合わせ、地域活性のモデルケースとして参考となる優れた取組みを『実行委員会特別賞』として選出いたしました。

【モノ（名品）部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
㈱シーアグジャパン	日本ミツバチの蜂蜜 「凛」	鹿児島県	南大隅町

【コト部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
北海道芦別市	「共創のふるさと納税」による地域創生 ～サスティナブルな地域づくりを目指して～	北海道	芦別市

■「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」について

地域の中には日本全体ひいては海外にも通用する潜在力の高い名品やストーリーがたくさん眠る一方、域外の消費者は、こうした未開拓の資源の存在をほとんど知る機会がなく、また、地域の側もそのポテンシャルをどう伝えればいいのか、戸惑いがあるのが現状です。

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会では、地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする新たな地域のチャレンジをさらに効果的に、より多くの人に知ってもらうべく、意思を同じくする民間企業が知恵と力を合わせて、地域に眠る名品と、その名品を支えるストーリーや取組を様々な角度から発掘してまいります。

＜「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会＞

実行委員長:　古田　秘馬
幹事社（3社）:　JCOM株式会社、株式会社JTB、株式会社テレビ東京コミュニケーションズ
会員企業・団体（9 社）:
株式会社インターローカルパートナーズ、紀尾井町戦略研究所株式会社、
株式会社さとふる、日本郵政株式会社、株式会社羽田未来総合研究所、
エコッツェリア協会、楽天グループ株式会社、株式会社AKIND、株式会社10（10INC.）
後援:　内閣府、農林水産省、経済産業省

【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー　2022 地方創生大賞、地方創生賞】

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取組が、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰する賞。「モノ（名品）部門」「コト部門」の2つのカテゴリごとに地方創生賞を5つずつ用意し、それぞれのカテゴリの最高位を地方創生大賞とする。

応募条件　:2022 年 12 月頃までに、地域の特徴を生かした最近3年を目安に新たに販売・発表された名品を対象とします。ただし、販売・発表から数年経てもまだまだ認知のないコト・モノであれば受賞可能と判断する予定です。
選考フロー　:一次審査・二次審査・最終審査の三段階の審査を行います。
授賞内容　:「モノ（名品）部門」「コト部門」の 2 つのカテゴリごとに地方創生大賞１点と地方創生賞４点を授賞

＜報道関係の方のお問い合わせ先＞
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会事務局
大谷：070-1054-7835
佐竹：080-7631-3004
EMAIL: furusatomeihin@jtb.com
時間：月～金9:30-17:30（土日祝　休業）